

大規模増殖場開発事業調査

—風間浦地区—

(要 約)

三木 文興・足助 光久・沢田 満・仲村 俊毅
小田切明久・三戸 芳典

風間浦地区における大規模増殖場開発事業は、昭和53年～54年度に調査が行なわれ、昭和55年度から事業が実施される計画となっている。

本事業の構想は、エゾアワビを対象として、低利用砂礫地帯などに各種コンクリート・ブロック及び石材を配置した増殖場を造成し、アワビ稚仔の沈着と育成、餌料海藻の滞留と増殖をはかるとともに、アワビ人工種苗を放流し、アワビの再生産と漁獲増をねらいとしている。

本年度は、波浪観測などの漁場環境調査、前年度未調査区域の生物分布状況調査、アワビ幼稚貝の分布状況調査、前年度設置したモデル施設の追跡調査を行なうとともに、流況、アワビ生態及びアワビ漁業の実態などについて解析検討したが、調査結果については、前年度を含めて別途報告する。

なお、現地調査に際して、種々御協力いただいた風間浦村及び大畑町役場ならびに蛇浦、易国間、下風呂、大畑町各漁業協同組合にお礼申し上げる。



詳細は「大規模増殖場開発事業調査総合報告書、昭和55年度版・水産庁」または「大規模増殖場開発事業調査総合報告書 —風間浦地区— 青水増資料 S. 55 - No. 10」を参照されたい。